

山 口 新 聞

平成 29 年 12 月 15 日 (金)

NO.277

【中山間地域等直接支払集落協定】



生野集落は光市（旧大和川源流の地に位置し、岩国町塩田）の最東端、田布施市周東町、田布施町小行司

農地・水・環境
守ろう地域の手に

277

耕作放棄地の発生防ぐ

生野集落協定（光市）

① 会員の皆と
② 農用地の
草刈り作業



に接する地域である。棚田、湿田と農業を営むには最悪の条件も、ほ場整備事業で農業経営基盤が改善された。最近では過疎化、少子・高齢化が進んで、農業者だけでは農業環境の保持・保全ができなくなり、耕作放棄地の増加が懸念されている。

そんな中、農業環境の保全・向上を図るため、2012年から中山間地域等直接支払制度の第3期対策を実施し、現在は第4期対策に取り組んでいるところである。住民が草刈りや水路の泥上げなどの作業を行い、助け合うことで地域の連帯が深まり、共同活動を通して情報交換やコミュニケーションを図る良い機会となっている。景観作物のレンゲを栽培し、明るい地域の実現も目指している。

（代表、青木良武）
＝金曜日掲載＝

【メモ】代表＝青木良武▽会員＝13人、農業者（11人）、非農業者（2人）▽設立＝2012年6月26日▽連絡先＝光市塩田165、青木良武、電話0820・48・4521